





……で

どうして
僕のところ
連れてくるのさ

相手なら
君がすれば
済むことだろ

いいや
こいつは
お前が世話しろ
大かむろ



おお
おっかな
無暗にお客を
恐がらせる
ものでもないぞ

わっ



私は無口で
オドオドしてる
こいつのような
のは好かん

お前のほうが
相性いいぞ
きつと

僕は従業員で
なく店主だよ



昔は
ともかく
いまこの店で
僕は君の主人
だということ
を忘れて
いる
ようだね

あまり主人を
揶揄うものでは
ないと思うが？



悪いが
どいて
くれないか



す、
すみませ...



わあっ
!?



なるべく
早く頼む...

あああと胸を
手掴み
しないで.....

んっ.....



うるさい
その顔やめろ

自分ができるのは
恥ずかしいからと
他人の情事を
覗き見して自慰に
ふけるヘタレだ



安心しろ
こいつ本性は
こんなだ

如何わしい店を
仕切っておいて
笑わせるだろ



お客の前で
こんな恥を……

いい加減に
しないと
本当に怒るぞ
女狐

ははは
その情けない
姿が見た
かったんだ

男にちよいと
触れただけで
プルップルの奴が
なにを言っても
凄みがないぞ!



ほれ

ズッ

わわ



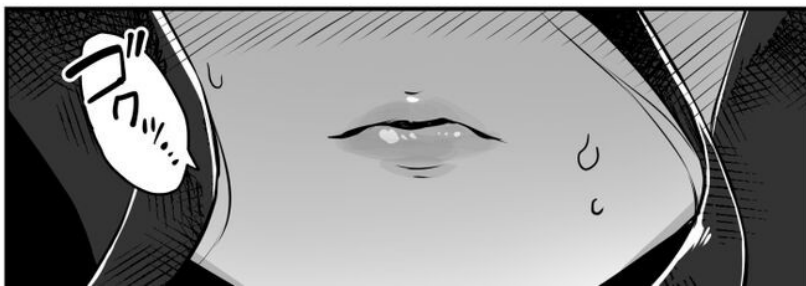
まあ聞けよ
もう長いこと
ご無沙汰だろ?

格好つけてないで
たまには直接
若々しい精を
食ったらどうだ

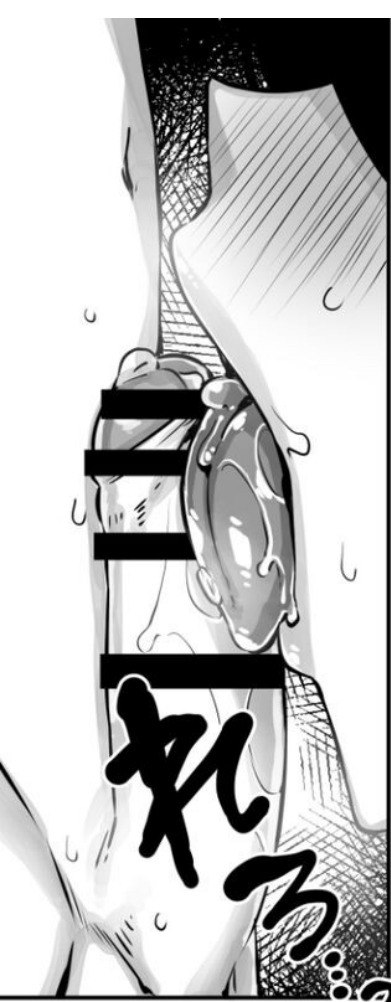


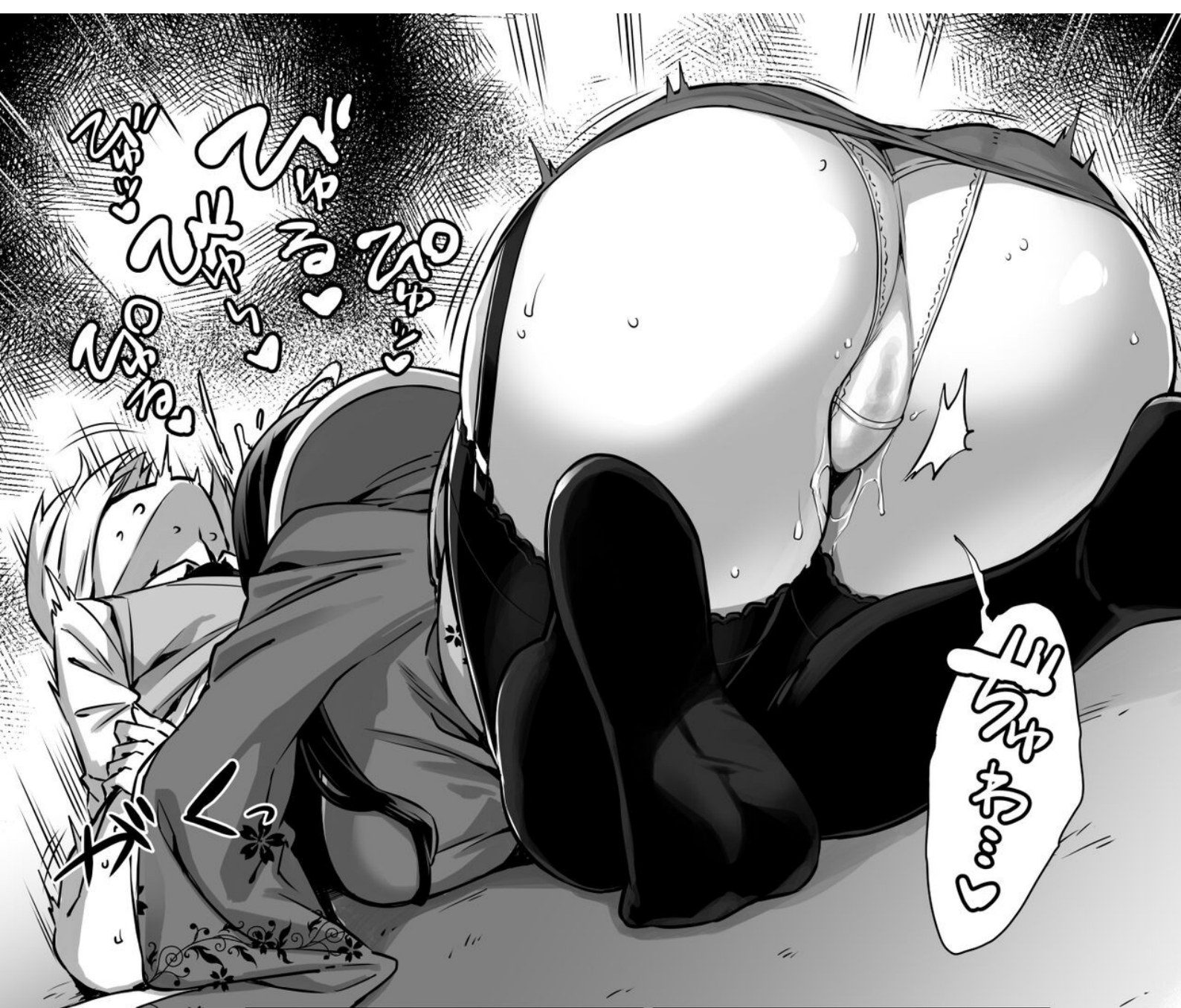
若い男子の
……!!

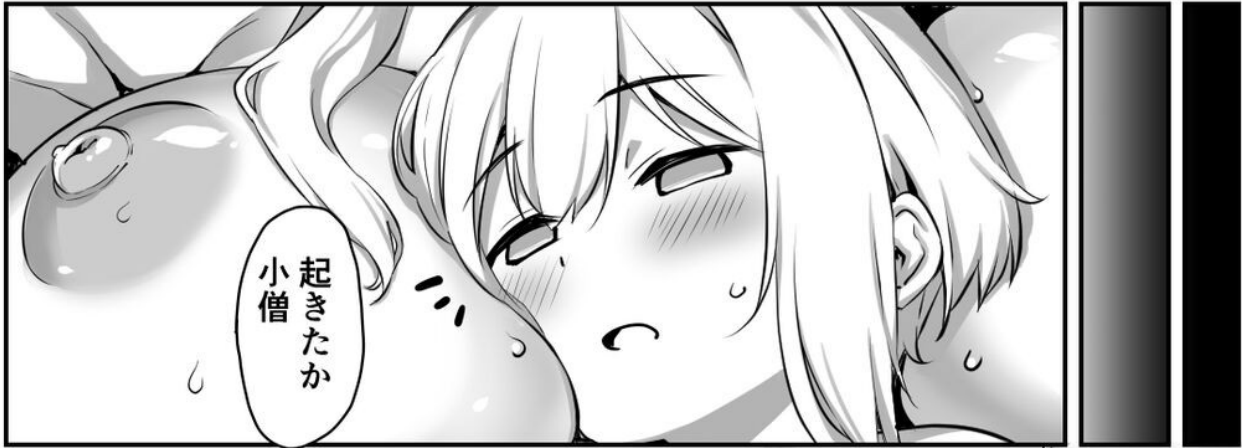
ムッ



わわ









僕はその
おチビちゃんを
犯す
冬はベッドに
なってもらおう

ふふ



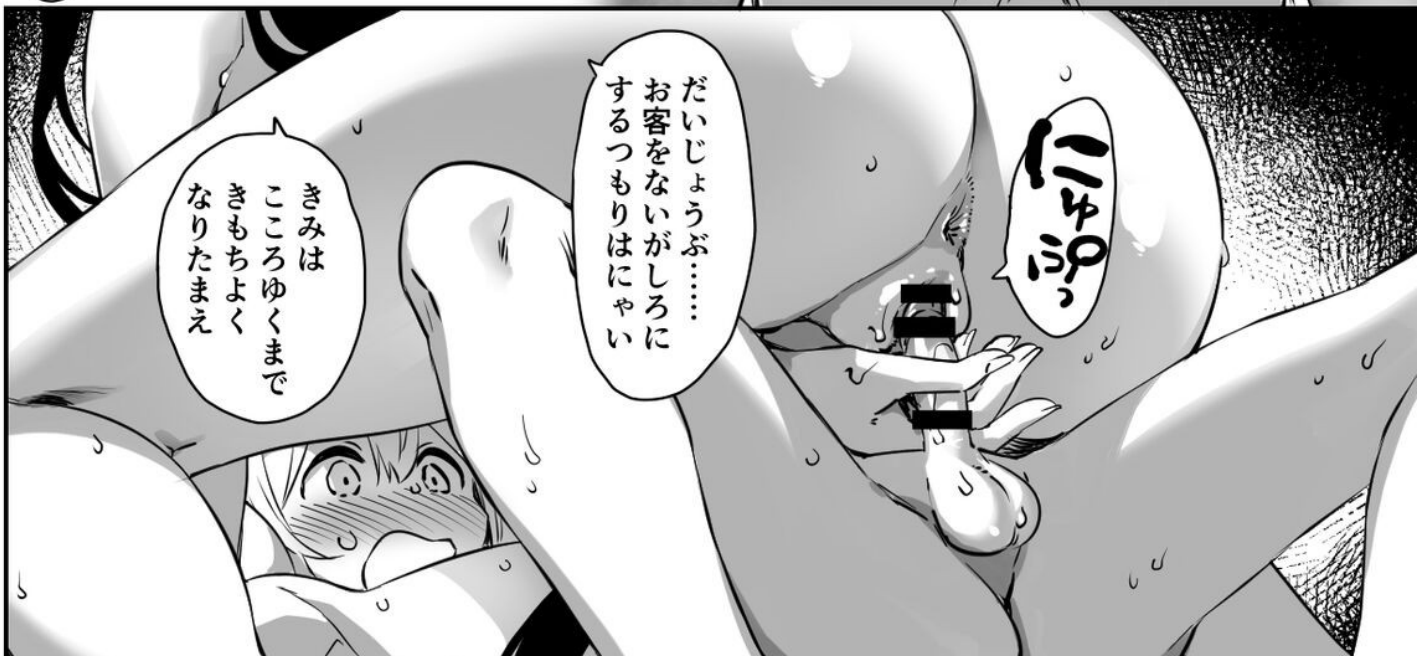
拘束をといた
としても
ここは僕の
作った部屋

許可なしでは
出られない



うわ こいつ……
開き直ったわけじゃなく
自分の思考にも
モヤをかけて
含羞をごまかしているんだ

アホか

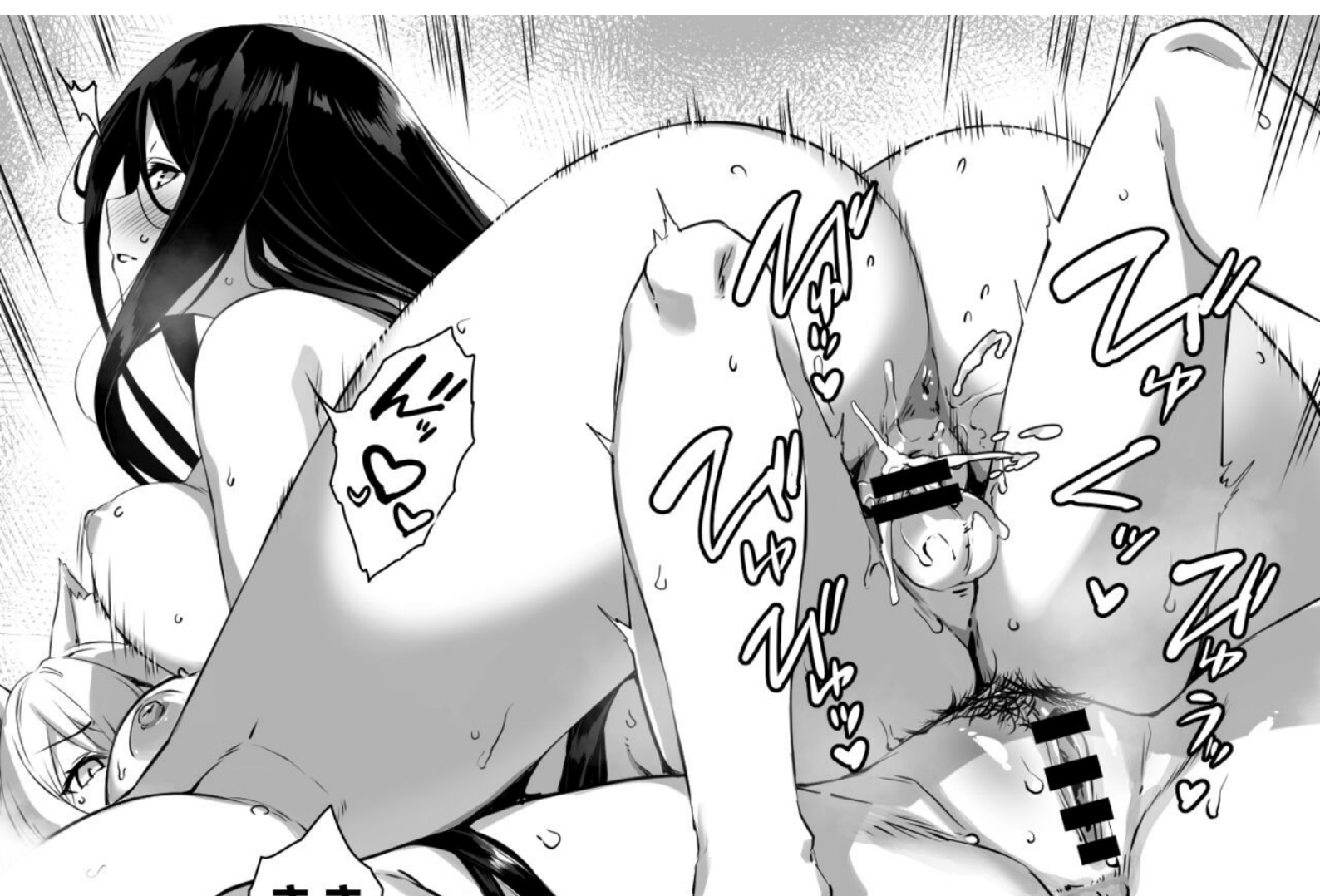


しゃぶ

だいじょうぶ……
お客をないがしろに
するつもりはにやい

きみは
こころゆくまで
きもちよく
なりたまえ





きつ
きたあ♥
奥にくれっ♥
ぜんぶっ♥



というわけで
小僧
次は私だ
覚悟するんだな



おおっ
自由に
なった!
……が
出しちゃ
くれんか



お



いんち

いんち

いんち

いんち

いんち

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

いんち

いんち

いんち

いんち

いんち

いんち

いんち

おっぱい





大かむろは？

ここは……
元の部屋か



んあ



うるさい
放っておけ
もうお嫁に
いけない

そこまで
鬱になる
ことか？

いく予定
ある？



あつ……
自分に
かけた術も
とけたんだな

くすん

すん



そうする

よしよし
また今度
そいつに
付き合っ
てもらおうな！

搾り
風をた



悪かった
って！

でも
久しぶりに
満足できたろ？

うん……

きもち
よかった……♡

おわり